

設立 40 周年記念誌

40年のあゆみ

地域に根ざした まちのシルバー人材センター



上空から見た鹿児島市シルバー人材センター

公益社団法人 鹿児島市シルバー人材センター

設立40周年にあたり

公益社団法人
鹿児島市シルバー人材センター

理事長 柿 元 孝 志



公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターは、令和3年10月に設立40周年を迎え、コロナ禍で多くの参加が厳しい中、下鶴鹿児島市長や川越鹿児島市議会議長のご臨席のもと、設立40周年記念式典を規模や時間を縮小し、去る10月14日に開催しました。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

また、設立40周年にあたり、これまでの足跡を編集した記念誌「40年のあゆみ」を発行することになりました。

顧みますと、当センターは、九州で2番目、全国的にもいち早く、昭和56年10月に会員数268人でスタートし、今日まで、シルバー人材センター事業の普及啓発、会員拡大、就業機会の拡大等に取り組んでまいりました。

このような事業展開により、隣接5町のシルバー人材センターと統合した平成17年度には、会員数が2千人を、11年後の28年度には3千人を超えました。その後さらに、女性会員の拡大など重点的な事業展開を図り、3年後の令和元年度には4千人を超えることができました。

これまで、男性、約1万人、女性、約6千人の合計約1万6千人の方が入会され、令和4年2月末現在の会員数は、男性2,588人、女性1,814人の合計4,402人となっており、順調に発展してきております。

40年前の発足当時の会員の平均年齢は、66歳で、平均寿命の伸びとともに、今日では72歳となっており、また、人生100年時代と言われるように、最高年齢は、男女ともに94歳の方で、会員としてご活躍いただいております。

受託、派遣を合わせた令和2年度の契約金額についても、設立当時の200倍を超える約17億円という、全国でもトップクラスの実績を上げております。

このことは、発注者のご理解はもとより、これまで携わっていただいた歴代の役職員、会員の皆様のご尽力の賜物であり、また、鹿児島市当局をはじめ、国、県のご指導、ご援助のおかげであると重ねて感謝申し上げます。

この10年を振り返ってみますと、平成24年度からの公益社団法人への移行、25年度からの65歳までの雇用確保措置の義務化、さらには令和3年度からの70歳までの就業確保措置の努力義務化など大きな変化がありました。

この間、人口減少、少子高齢化は、世界に類を見ないスピードで進展しており、地域の経済活力を維持するためには、これまで以上に、経験豊かな高齢者が地域社会を支える一端を担うことが期待され、地域での就業を通じて会員の生きがいと地域のニーズを結ぶお手伝いをしているシルバー人材センターの果たす役割は益々重要となってきております。

今後とも、会員皆様の安心・安全・健康を第一に、次の節目である50周年に向けて、1歩1歩着実に前進し、地域から頼られる「まちのシルバー人材センター」を目指していきたいと考えておりますので、皆様方のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、設立40周年記念誌「40年のあゆみ」の発行にあたり、ご尽力いただいた編集委員の方々をはじめ、関係者の皆様のご協力に対し心からの感謝を申し上げます。

目 次

40年のあゆみ

祝 辞	1
40周年記念式典について	5
40年のあゆみ（年表）	8
会員の声	15
発注者の声	22
事業実績（会員数、事業実績）	24
組織図	25
地域班のあゆみ	26
職群班のあゆみ	27
会員互助会のあゆみ	28
同好会活動の紹介	30
歴代役員一覧	34
役員、職員紹介	35
設立40周年記念事業実行委員会	36
編集後記	38

祝 辞

鹿児島市長

下 鶴 隆 央



公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターが設立40周年という記念すべき節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和56年の設立以来、40年もの永きにわたり、多種多様な事業活動を通じて、高齢者の就業機会の拡大と地域社会の活性化に寄与いただく中で、着実に発展してこられました。

これもひとえに、柿元理事長をはじめ、歴代役員や職員、並びに関係の皆様方の強い結束と並々ならぬご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

また、会員の皆様におかれましては、これまで培ってこられた豊富な経験と優れた技術を生かされ、意欲的に活動いただいておりますことを大変心強く思いますとともに、これからもますますお元気でご活躍されますよう期待申し上げます。

さて、私たちは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や人口減少・少子高齢化の急速な進行など、かつてない難局に直面しております。また、改正高年齢者雇用安定法が施行され、70歳までの就業機会の確保が努力義務とされるなど、高齢者を取り巻く環境は大きく変化してきております。

このような中、貴センターにおかれましては、コロナ禍にあって、令和2年度の会員数及び契約実績がいずれも過去最高を更新しており、高齢者の生きがいと地域のニーズを結ぶ貴センターの果たす役割は、ますます重要になっていくものと存じます。

本市といたしましても、貴センターの活動支援や鹿児島労働局との雇用対策連携協定に基づく各種施策等を通して、高齢者の就業促進を進めるとともに、市民の皆様のいのち・くらし・しごとを守るため、必要な施策・事業を機を逸することなく着実に推進し、人もまちも躍動する鹿児島市づくりに取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、鹿児島市シルバー人材センターが、このたびの記念すべき節目を契機に、更に大きく飛躍されますことと、会員の皆様方のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます、お祝いのことばといたします。

祝 辞

鹿児島市議会議長

川 越 桂 路



公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターが、設立40周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを、鹿児島市議会を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和56年の設立以来、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、着実な事業実績を積み重ね、高齢者の方々に対する就業支援をはじめ、生きがい対策や社会参加の促進を図るなど、活力ある地域社会づくりに大きく貢献してこられました。

これもひとえに、柿元理事長をはじめ、歴代役員並びに関係の皆様、そして何より支えてくださった会員の皆様のご尽力の賜物であり、心から敬意を表する次第でございます。

また、これまで培われた技術や、豊かな知識と経験を活かし、様々な業務に意欲的に取り組まれている会員の皆様のお姿を、大変心強く思います。

ご案内のとおり、我が国では少子高齢化が急速に進行し、近い将来、恒常的な人手不足となることが懸念されており、意欲や能力に応じ、全ての人々が年齢に関わりなく活躍できる社会環境整備が喫緊の課題となっております。

そのような状況の中、高齢者の方々が、生きがいを感じながら活躍し続けられる社会を構築することが極めて重要であり、貴センターに求められる役割は、これまで以上に大きくなってくるものと思います。

今後とも、地域に根差した「社会の担い手」として、持続可能なまちづくりに一層のお力添えを賜りますとともに、この先10年、20年と、更なる活動の節目を刻んでいただきますよう、心からご期待申し上げます。

私ども市議会といたしましても、皆様の活動を各面からご支援申し上げますとともに、議会審議を通じて、雇用の拡大や地域経済の活性化はもとより、地域共生社会の実現に向け、引き続き努力してまいります。

結びに、鹿児島市シルバー人材センターの更なるご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

公益社団法人
全国シルバー人材センター事業協会
会長 金子 順 一



公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和56年の設立以来、40年の長きにわたり、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、地域の高齢者の方々が長年培ってきた豊富な知識や経験、技能を生かした就業機会の提供や、ボランティア活動、地域社会活動への積極的な参加を推進することにより、生きがいの充実と地域社会の福祉の向上に大きく貢献されておられることに対し、深く敬意を表します。

人口減少、少子高齢化が進行する我が国においては、高齢化率が既に28.4%に達しており、令和7年に30%、令和47年には40%に近づくことが見込まれています。政府は、令和元年12月、「全世代型社会保障検討会議中間報告」を公表し、急速に進む少子高齢化の下、元気で意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持つ高齢者が働く環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることの重要性を指摘しており、シルバー人材センター事業の重要性と、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした地域社会の期待に応えるためには会員拡大が重要であることから、平成30年3月、令和6年度までを計画期間とする「第2次会員100万人達成計画」を策定し、貴センターをはじめ、全国のシルバー人材センター事業関係者が一丸となって会員拡大に取り組んでいただいている中、貴センターにおかれましては会員、特に女性会員の拡大に大きな成果を上げていただいております。現在、新型コロナウイルス感染症拡大という厳しい状況下の中ではありますが、引き続き、シルバー人材センターが、地域の高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、地域社会の支え手を実践できるよう、お力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、今後の貴センターのより一層のご発展と関係者各位のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

九州ブロック
シルバー人材センター連絡協議会

会長 内 田 敏 夫



公益社団法人鹿児島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

昭和56年10月の設立以来、会員の皆様、歴代の役員及び事務局職員の皆様の熱意とご努力により、実績を積み重ねられ、今日の隆盛を迎えられたことに心からお喜び申し上げます。

貴センターが設立された昭和56年以降、我が国においては急速に少子高齢化が進展し、今年4月からの高年齢者雇用安定法の改正により70歳までの雇用確保措置が努力義務化されるなど、高齢者の就業をめぐる状況は大きく変化しています。

このような中で、全国のセンターの会員数は、近年、長期的に低下傾向にあります。貴センターにおかれましては、60歳代の女性をターゲットとした様々なイベント等を行うことでセンターのイメージ転換を図るとともに、会員の新たな就業先の開拓を行うことで平成26年度の会員数2,380人（うち女性会員729人）が令和2年度末には、約1.8倍の4,229人（うち女性会員1,728人 女性会員は約2.4倍）となっており、全国のセンターのトップランナーとして着実な成果を挙げられています。

貴センターにおかれましては、「地域に根差した まちのシルバー人材センター」を目指して、創意・工夫を凝らしながら地域社会を支える担い手として役割を果たされており、今後の少子高齢化の更なる進展の中で、シルバー人材センターの役割はますます重要なものになると確信しています。

最後になりますが、会員・役職員及び事務局職員の一層のご活躍・ご健勝と公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターのますますのご発展を心からご祈念申し上げ、設立40周年のお祝いの言葉といたします。

設立40周年記念式典

■ 日 時 : 令和3年10月14日(木) 午前10時30分～

■ 場 所 : サンエールかごしま

鹿児島市シルバー人材センター設立40周年記念式典は、令和3年10月14日(木)サンエールかごしまで行われ、出席者約200人が設立40周年を祝いました。

昨年から続くコロナ禍で、出席者・規模を縮小しての開催となりました。

当日は、来賓として下鶴鹿児島市長、川越鹿児島市議会議長にご臨席・ご祝辞を賜り、「40年のあゆみ」の上映や長期会員等の表彰が執り行われました。

また、アトラクションとして「ひまわり劇団」による津軽三味線演奏、歌や踊りがあり、出席者全員で40周年を祝い、さらなる飛躍を誓いました。

設立40周年記念式典次第

【第1部】 1. 開 式
2. 40年のあゆみ

【第2部】 3. 式 辞
4. 表 彰 状 贈 呈
5. 来 賓 祝 辞
6. 祝 電 披 露

【アトラクション】
7. ひまわり劇団
8. 閉 式



おかげさまで40周年

感謝状・表彰状

受賞者

(敬称略・順不同)

感謝状受賞者

【発注者の部】



1 団体・企業 (受託)

学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校
学校法人 津曲学園 鹿児島国際大学
有限会社 すべ産業
株式会社島津興業 観光事業本部 薩摩ガラス工芸
社会福祉法人 城山会
南日本放送 業務部
社会福祉法人 鹿児島市社会福祉協議会 桜島支部
鹿児島県教育会館維持財団
株式会社 プロゴワス
泰山荘 デイ・サービスセンター
有限会社 セラヴィコーポレーション
鹿児島大学法文学部
社会福祉法人松恵会 特別養護老人ホーム 松恵園

丸山喜之助商店
南日本ゴルフセンター
株式会社 ビルメン鹿児島
特別養護老人ホーム 高喜苑
社会福祉法人 川上福祉会
特別養護老人ホーム はっぴー園
鹿児島銀行 総務部
公益財団法人 慈愛会 今村総合病院
公益財団法人 鹿児島市獣医公衆衛生協会
ロイヤルメゾン祇園之洲管理組合
株式会社 キク薬舗
特別養護老人ホーム 泰山荘
社会福祉法人桜岳会 特別養護老人ホーム 桜島苑

国民宿舎 レインボー桜島
株式会社 ターミナルサービス
株式会社 穴吹コミュニティ鹿児島営業部
鹿児島大学農学部・共同獣医学部
鹿児島大学理学部
株式会社 南日本総合サービス
医療法人 至恩会 中洲整形外科
株式会社 ニチガスクリエート
オブシアミシミ
セイカ食品 株式会社
三井ビル 株式会社
株式会社 カクイックス

(派遣)

鹿児島日産自動車 株式会社
イオン九州 株式会社

有限会社 鴨池運送
鹿児島県花卉園芸農業協同組合

株式会社 鹿児島園芸花市場



2 個人

弓削 英春 厚地 良彦 小宗 隆之 園田 祥三

【役員の部】



3 歴代理事長

隈元 一 森 英夫 藤山 幸一



4 歴代常務理事兼事務局長

赤尾 力 大徳 義信 福永 修一

表彰状受賞者

【会員の部】



1 長期会員

富山 健 丸田トミ子 勘場 道子
篠原フミ子 壺岐 信一 吉留 育男



2 特別表彰

富山 健 丸田トミ子 勘場 道子
迫田 行男 田知行哲彦 瀬戸山文江

喜びの
声

長期会員等表彰



- 富山 健さん (94歳)
60才の時に入会し34年！ 筆耕の分野で頑張ってきました。好きな書の仕事で元気にここまで頑張れて嬉しく思います。(圧倒的な存在感で筆耕を牽引されています)
- 丸田トミ子さん (94歳)
私も60歳で入会34年。以前は理事も務めました。今は手芸同好会に所属しています。皆さんと知り合えたことが本当に嬉しい。おはら祭にも毎年参加してきました。
- 勘場 道子さん (92歳)
60歳で入会32年。私も筆耕の仕事を主にやってきました。現在も会員作品展などに出品しています。シルバー人材センターで頑張ってきたことに良かったです。
- 吉留 育男さん (86歳)
入会25年。剪定作業を主にやってきました。夏場きつかったことを思い出しますが、依頼者に喜ばれた時の嬉しさと、健康で仕事が出来たことを有難く幸に思います。

※紙面の都合上、全員の喜びの声を代表者4人としてしました。

設立40周年記念式典の様子



表彰式



50周年に向けて「ガンバロ〜！」



会場を盛り上げた「ひまわり劇団」

1981 ▶ 1991

昭和56年度～平成3年度

昭和

56年度

- 10月13日
設立総会【会員数268人】
(男性207人、女性61人)

57年度

- かごしまシルバーだより創刊

58年度

- KTSテレビ「市政の窓」で除草作業を放送

59年度

- 事業所、企業に対する需要開拓アンケート調査実施

60年度

- 契約金額 1億円突破

61年度

- 「高齢者等雇用安定法」に基づく知事指定法人に指定書交付

62年度

- 市電・市バスに中吊り広告

63年度

- 事業普及啓発促進月間(10月)行事で街頭キャンペーン実施



設立総会



設立10周年記念式典

平成

元年度

- 甲突川・新川クリーンリバー作戦に参加(会員110名)

2年度

- 県議会より視察

3年度

- 設立10周年記念式典
(中央公民館)

1992▶2000 平成4年度～平成12年度

平成



女性会員の集い



会員互助会設立総会



おはら祭り初参加

4年度

- 会員数1,000人突破

5年度

- 国・市の補助事業として福祉・家事援助サービス推進事業実施

6年度

- 理事会に4専門部会と8委員会の設置決定

7年度

- 第1回 女性会員の集い (中央公民館)

8年度

- 会員互助会 設立総会

9年度

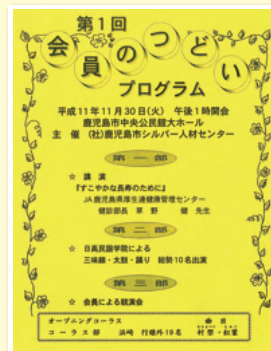
- 県シルバー人材センター連合会 設立総会

10年度

- おはら祭り初参加 (62名)

11年度

- 第1回 会員の集い開催



- 契約金額 5億円突破
- 旧郡山町シルバー人材センター 設立
- 旧喜入町シルバー人材センター 設立

12年度

- 駐輪・駐車班、公園清掃班、墓地清掃班発足
- 旧吉田町シルバー人材センター 設立
- 旧桜島町シルバー人材センター 設立

2001▶2010 平成13年度～平成22年度

平成



設立20周年記念式典



統合契約調印式



新生シルバー人材センタースタート



年末物品の受け渡し

13年度

- 設立20周年記念式典
(市民文化ホール)

14年度

- 事務所移転開所式
(庁舎2階から1階に移転)

15年度

- 第1回 統合協議会
(1市5町統合について基本合意)

16年度

- 第2回 統合協議会
(統合契約調印式)

17年度

- 隣接5町と統合
新生鹿児島市シルバー人材センターとしてスタート
(会員数2,370人)
- 統合施行臨時総会
(統合記念式典)

18年度

- 市営東千石、山之口自転車等駐車場、すこやかランド石坂の里の指定管理を受ける

19年度

- 就業適正化委員会設置
「適正就業に関する基準」制定
- 運搬班設置
- 派遣事業開始
- 年末物品販売開始

20年度

- 市営中町自転車等駐車場、さくらじま白浜温泉センターの指定管理を受ける

21年度

- 墓守事業の開始

22年度

- 企画提案方式
「地域ふれあい」事業に着手

2011▶2013

平成23年度～平成25年度



おじゃったもんせ開店

平成

23年度

- 公益社団法人 認定申請
- 設立30周年記念式典
(市民文化ホール)
【会員数2,439人】

24年度

- 公益社団法人へ移行
- ワンコインまごころサービス開始



- アンテナショップ「おじゃったもんせ」開設

25年度

- 「やさしか、うれしか、あったかサービス」事業着手
- 「シルバー学舎」事業着手
- 「ほほえみサロン」開設
(各種講座を開催)



ほほえみサロン開設

2014▶2016

平成26年度～平成28年度

平成



ひまわりの会発足



糸島市シルバー人材センター視察



派遣就業推進班を設置



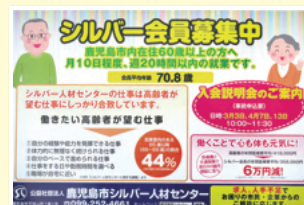
うそ電話詐欺協力隊員委嘱状交付

26年度

- 女性会員の会「ひまわりの会」発足
- 県シルバー人材センター連合会と共催で派遣安全講習会を鴨池公民館で開催
- 県緊急雇用創出事業特例基金に基づく「高齢者就業拡大推進事業」により、県シルバー人材センター連合会から就業確保推進員が配置される。
- 「認知症サポーター養成講座」を開催
- 「ひまわりの会」世話人5名、職員2名で糸島市シルバー人材センターを視察

27年度

- 派遣就業推進班（現 就業推進グループ）を設置
- 市電窓吊り広告（会員募集編版）を実施



28年度

- 「うそ電話詐欺」防止のために県警と県シルバー人材センター連合会が協定を締結（当センター816名を協力隊員としてを委嘱）鹿児島中央駅東口で被害防止のチラシを配布
- ビューティー講座開催



- 会員数3,000人突破、契約金額10億円突破

2017▶2018

平成29年度～平成30年度

平成



「おじゃったもんせ」5周年



生活支援チラシ



ビューティーフェアかごしま



「ひまわり劇団」結成

29年度

●アンテナショップ「おじゃったもんせ」5周年

●高齢者世帯が多い地域に、新聞折込で「生活支援チラシ」を配付

●「ビューティーフェアかごしま2017」を鹿児島市勤労者交流センターで開催

30年度

●「会員便利帳」を発行し、全会員へ送付

●契約金額増加額、就業延人員増加数 全国第1位



●「ひまわり劇団」結成

●会員増加数 全国第1位

2019▶2021

令和元年度～令和3年度

令和

元年度

- ・会員数4,000人突破
- ・「シニアオータムフェスインかごしま2019」を鹿児島市民文化ホールで開催



会員数4,000人突破



2年度

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、多くの事業を中止
- ・「定時総会」を当センター会議室で縮小開催



定時総会

3年度

- ・「設立40周年式典」をサンエールかごしまで縮小開催
- ・設立40周年記念品としてエコバックを会員全員に配付



設立40周年記念品（エコバック）



設立40周年記念式典

地域班 — 中央ブロック —

甲南第一班 班長 生 見 勝 次

中洲通りと国道225号線の交差点の一角が鹿児島市シルバー人材センターです。ここは毎年春になると美しい花を咲かせる桜の大きな木があります。私の生きがいの原点となっています。

十数年前、仕事を求め、この場所に行きました。職員の方から熱心な説明を受け、自分でも何かできるかなという思いで、すぐに入会しました。会員となったことが現在における活力源となっています。それから時が経ち30周年、40周年行事との出会いが来ました。また、就業は営業や駐車場管理、除草作業など様々な業種に挑戦し、経験を積むことが出来ました。

お陰様でこの礎は、顧客、役職員、会員の方々の支えがあつてこそと感謝しております。これからも「キョウヨウ」「キョウイク」を心がけ、皆さんとの交流を図り、長寿健康を実現したいです。

地域班 — 鴨池ブロック —

南第一班 班長 伊牟田 祐 司

私は会社を定年退職後、22歳まで育ててもらった鹿児島のお役に立ちたいと考えていました。しかし、仕事がなかなか決まらず既に60歳になっていたにもかかわらず、仕方なく自分で起業する事にしました。その後65歳の時、シルバー人材センターに登録させていただきました。するとすぐに、今は亡き中島さんから「菜種収穫の仕事」を紹介され、「やります！」と二つ返事。

サラリーマン時代にやったことのない体を動かす楽しい仕事でした。その後様々な仕事をさせていただきましたが、一番は産業車両の技能講習講師の仕事でした。受講者が最後の試験に合格しないと、補習講義・再試験を繰り返し、合格するまで講師も帰れませんでした。

センターの設立40周年、おめでとうございます。これからもセンターが増々発展し、多くの仕事が会員に紹介できるとよいな、と思っています。

地域班 — 城西ブロック —

城西第三班 班長 大 迫 忠 治

私が、シルバー人材センターの会員になるきっかけは、自宅裏の道路に違法駐輪している自転車にシールを貼っている指導員に、センターに聞けば仕事があると聞いたことです。そして始めたのが自転車等駐車場の管理人でした。早いもので9年目を迎え現在、東千石駐輪場の管理人として勤務しています。

また、地域班では城西地区の班長が6年目でブロック長が2年目です。ここ2年はコロナウイルスの関係で、地域の班会や地区の合同班会の行事等が今までのように、ほとんどできない状況です。

センター発足40周年にあたり、1日も早くコロナが収束し会員の皆さんと笑顔でマスク無しの安全就業ができる日を心待ちにしています。

地域班 — 谷山ブロック —

東谷山第一班 班長 豊田 義孝

鹿児島市シルバー人材センター設立40周年を心よりお喜び申し上げます。設立1年半後に鹿児島に参りまして私も40年が経ってしまいました。平成19年12月に入会し、今日に至っております。

当時は班会への出席率が悪く、班長として頭を悩ませておりました。ある時、和田班長との雑談の折り班会を2度に分けて実施したらどうか、と話が出ました。日曜日を中心に水、木の曜日に実施すれば、各自で選択ができるとのことで、過去3度ほど実施して少しずつ成果が表れてきていました。

新型コロナの影響で班会が出来ずに困っています。しかし、収束後はまた2回制の班会を行い、会員の皆さんがこぞって全員参加できる班会を行うよう努力いたす所存です。

地域班 — 吉野ブロック —

吉野第一班 班長 梅北 克己

入会して早7～8年。公民館図書貸し出し業務をはじめ公園清掃等に就労し、この間地域班や地域ブロックの業務等をさせていただき、現在に至っています。

シルバー人材センターの役割は、各地域での就業を通じ、会員の生きがいと福祉の増進に資することを目的にしています。

その中で、就労している会員は、どうあるべきか、超高齢社会の今日、元気高齢者のうちは支えられる側ではなく、支えるスタンスを持つべきと思います。

私どもは、地域の高齢者や住民が安心・安全で、健康な暮らしができるよう就業活動を通じて、地域社会に貢献しているところであります。

吉野地区合同班会では、毎回60%を超える参加率で、センターの会員であることへの自覚と認識、又会員同士の交流の場となっております。

センター40周年を祝し、高齢社会で私たち会員の役割を十分に発揮できたらと思います。

地域班 — 伊敷ブロック —

西伊敷第一班 班長 今林 幹夫

設立40周年、おめでとうございます。会員相互の親睦と融和、健康維持と教養の向上、福祉の増進、明るく住みよい街づくり等、皆さん元気に頑張っていることと思います。

仕事を楽しく、趣味を楽しく、遊びを楽しく、気持ちはいつも前向きで、一日一日を大事に生きましょう。これからさらに少子高齢化が進むでしょうが、その中でも人とのふれあいを大事にして、少しでも役に立つ自分を探して頑張りたいものです。

一日でも早くコロナ禍から抜け出し、今後のシルバー人材センターが益々発展を遂げますよう、祈念します。

地域班 — 武・田上ブロック —西陵第二班 班長 **徳 留 治 義**

定年後、田舎で畑仕事を楽しみにリラックスした日々を暮らそうとしていましたが、志向と違い、日々の大半のロスを感じる日々でしたある日、シルバー人材センターの広告に見入って一念発起、入会しました。

それ以来、十数年の歳月が経過しましたが、私はサラリーマン生活40年。同業種の仕事であり、現在の仕事は先輩、後輩ともに異業種（各業界）の知識、経験を豊富に習得された会員である仲間の方々との会話が楽しみです。（井の中の蛙）この、私にとってシルバー人材センターは、人生の社会勉強の場所となつています。

平成21年班長、その後ブロック長を委嘱され老体に鞭打って頑張っています。

今後のシルバー人材センターの益々の発展をお祈り致します。40周年おめでとうございます。

地域班 — 吉田ブロック —西佐多班 班長 **桑波田 勝**

会員となって20年。平成13年6月22日、吉田町シルバー人材センター会員として入会、刈払班の一人として、先輩に機械の指導を受け、なんとか刈払作業が出来るようになりました。以前、NHK大河ドラマの撮影があった、磯庭園の島津家殿様の屋敷花倉城跡や吉野磯山での篤姫ロケ地などの刈払をしました。

吉田支部花立腐葉土センターを建設、市内の小中学校、幼稚園など評判も良く人気がありました。吉田支部ブロック長、西佐多班長、互助会係として現在に至っております。

吉田支部会員87名、それぞれの分野で安全就業に頑張っております。私の自慢の一つ、当時から就業日誌を現在も続けております。

センター設立40周年を心より喜び、益々の発展をお祈りいたします。

地域班 — 桜島ブロック —二俣松浦班 班長 **横 山 力 八**

私はシルバー会員として働いて約5年になります。当初、臨時職員の的な考えでいましたが、実際働いてみますと、利用者やお客さんはそこの職員として見ているな、と感じました。その為に私は職場の規定、ルールに従って働くことが大事であるな、と思いました。

個人差はありますが、一生懸命働くことが、自分も働いているという満足感を得ることが出来、また自分の健康にもつながり充実した生活を過ごすことになり、利用者、お客さんにも信頼感、安心感を与えることが出来ると思います。そうすることがシルバー人材センターの発展にもつながると思います。

地域班 — 喜入ブロック —

喜入第一班 班長 上之園 俊 幸

シルバー人材センター40周年、おめでとうございます。私がセンターに入会したのは、今から5年前になります。最初は作業のやり方が分からず、先輩に怒られることが度々ありました。1年後、喜入1班の班長となりましたが、訳が分からず、皆さんに迷惑を掛けることも度々ありました。

今はブロック長という立場になり、各職場に出向き朝礼時に一日の作業の段どり、安全についての注意事項などお話し、日々安全で皆さんが楽しく仕事出来ることを願っています。

地域班 — 松元ブロック —

松元班 班長 永 山 優

設立40周年記念式典に参加できたことを心よりうれしく思っております。素晴らしい式典でありました。

私事ですが、平成26年10月に入会し、シルバー人材センターの事業自体を詳しく知らず、色々な面で研修、講習会等に参加しました。平成27年4月に「お茶の里」が新規オープンしたことにより、そこでの就業が初仕事となり、5年間就業いたしました。平成31年4月には支部長を委嘱され、本部、支部、会員とのパイプ役として、現在も会員と「切磋琢磨」しながら頑張っています。支部長として、初めて、令和2年2月の年1回開催の日帰り旅行（班会・懇親会）を開催し、多くの会員同士の融和と交流を深めたことが印象に残っています。

シルバー人材センター40周年の節目にあたり、今後の発展は私達の責任であることを自覚し、皆と笑顔で努めて参ります。

地域班 — 郡山ブロック —

郡山班 班長 郡 山 征 士

公益社団法人「鹿児島市シルバー人材センター設立40周年」おめでとうございます。会員として記念式典に参加し、歴史の重みを感じさせて頂きました。

私がシルバー人材センターにお世話になったのは、60歳で定年退職をして今後の人生を考えている折、郡山支所より農村研修施設の受付を依頼されたのがスタートで、間もなくこの業務がシルバー人材センターに委託され会員となりました。地域の人々との交流によっていろいろな事を知り、それが生きがいとなり健康の保持にも役立ち、会員になり本当に良かったと思っています。

平成29年にブロック長、班長を委嘱され微力ながら会員の皆様と共に地域に密着した活動を、今後も続けて行きたいと思います。

職群班 — 剪定職群班 —統括班長 **出 来 正 俊**

シルバー人材センター設立40周年を迎えお祝いを申し上げます。

剪定班員は技術の鍛錬・安全就業への努力、接客態度の向上を心掛けて日々、庭園等の剪定に励んでおります。作業終了後にお客様から「庭が見違えるようになり、眺めるのが楽しみだ」等の感謝の言葉を掛けてもらった時は、一日の疲れを忘れてしまう快さと達成感を感じることが出来ます。

剪定は、屋外肉体労働であり、新規加入者が少なく、世代交代がうまく進んでいないのが現状です。この課題解決のため、平成21年度から剪定職群班独自の「育成講習」を実施し、剪定に興味があり造園への志を抱く後継者の確保を図っているところであります。

今後、少しでも永く就業できるように健康と安全就業に努力することを目標とするとともに、人材確保の方策をより効果的に実施して後継者育成を図ってまいります。これからもシルバー人材センターがより発展することを祈念いたします。

職群班 — 草刈職群班 —統括班長 **川 崎 哲 夫**

シルバー人材センター設立40周年を心からお祝い申し上げます。

たんぼの土手の草刈作業中に高校の先輩に声掛けされて、平成23年にシルバー人材センターの草刈班に入会しました。

平成28年にブロック長を委嘱され、最初に南北ブロックの配分金の統一、作業配分の公正・公平、事故対策などの課題に取り組みました。事故対策に関しては、飛石事故が非常に多かったので、団体作業の朝礼、終礼で養生ネット、カルマー機使用などの周知徹底し続けた結果、減少し、後ひと踏ん張りです。

令和2年統括班長を委嘱され責任の重さを感じています。新型コロナなど時代の変化、受注先の多様性、作業への取り組み方の世代間の違いなどがありますが知恵を出し合って新しい時代に対応できる鹿児島市シルバー人材センターを築いていきましょう。

職群班 — 草取職群班 —統括班長 **向 井 重 則**

設立40周年を心からお祝い申し上げます。

平成25年(68才)で家内に勧められ、入会することになり7年が経とうとしています。公園の空きの連絡を受け、甲突川左岸の清掃作業が始まりです。

最初の就業で良きメンバーに恵まれ、楽しく過ごした事でシルバーセンターの仲間の絆を知りました。

また、安全就業に関する標語では、2年連続「最優秀賞」を受賞できた事も思い出です。

新たな未来に向けて第一歩を踏み出しました今後のシルバー人材センターへの思いについては、これからは今まで通りのやり方や考え方が通用しなくなるかも知れません。

そのために、今まで以上に自分たち自身が変わり続けると共に、皆様と繋がっていくことが必要かと思えます。

職群班 — 公園清掃職群班 —

統括班長兼皇徳寺区域ブロック長 市 来 廣 徳

平成26年4月に入会、同年8月に公園清掃業務を希望、現在皇徳寺ブロック長として指導、写真撮影・処理と年度計画による谷山地区公園草刈りの運用・実施に従事し、就業勤続7年目になります。

今年は、年度交代制による統括班長も受け承っておりますが、現在、後継者育成の問題が、全ブロックの喫緊の課題となっており、その解決策等を模索している状況です。

公園清掃業務の推進に当たっては、班員との対話を通じたコミュニケーションづくりを第一に、「健全な心身あってこそ！ 就業可能」と「安全は全てに優先する！」を基本理念としています。

センター設立40周年の節目の年に一会員として名を連ねていることに何か感慨深いものがあり、次の節目にも何らの形で就業出来たら？ と、公園清掃業務に日々精出している今日この頃です。

職群班 — 墓地清掃職群班 —

統括班長 辻 昭 弘

40周年を迎えられて本当におめでとうございます。

素晴らしい先人達が、会員数、売上高を年々増加させ、鹿児島市シルバー人材センターの生き様が歴史となって後世にその名を残すでしょう。

私は10年前の12月より墓地清掃の仕事を頂き、多くの会員様と縁を得ることができました。しかし、楽しい仕事だけでない日もあり、特に30℃を超える日は暑さとの闘いであります。入会翌年の8月12日に熱中症になり、ブロック長、先輩達に大変お世話になり、報告、連絡、相談の大切さを身をもって体験しました。当時、その墓地は一人体制で枯花が山のように積まれ、リヤカーで何度も往復したことを昨日のように思い出します。

危険は平等に潜んでいますが、他方、参拝者の方が「おつかれさん」と笑顔で返して頂く時に心が和むこともあります。人生100年頑張りましょう。

職群班 — 駐輪・駐車職群班 —

統括班長 大 坪 恵一郎

シルバー人材センター設立40周年を心からお祝い申し上げます。

平成24年4月、時間潰し程度の仕事を求め、入会、研修後の6月から駐輪場の就業となり、現在があります。

当初、入会時の動機が不純で甘かったせいもあり、達成感がなく、苦労ばかりやと思い、「辞めどきを考えながら」身勝手な就業態度でしたが、先輩諸氏の「優しく、温かい」ご指導の御蔭でこれまで就業できています。

今では、経験豊かな同年輩の方々と楽しく仕事出来ていることに日々感謝です。

駐輪・駐車職群班は、結果が万全でも褒めてもらう、お礼を言ってもらえることは決してありませんが、これからも共働・共助の精神で「放置自転車等の無い街づくり」に向け、班員150余名がワンチームとして結束し邁進したいと思います。

鹿児島市シルバー人材センターが今後益々の発展されることを祈念いたします。

職群班 — 運搬職群班 —

ブロック長 住 吉 英 一

平成23年4月入会し、10年前に開催された全国都市緑化かごしまフェアの来場者の案内が最初でした。

現在は、運搬班で公園、公共施設及び企業、家庭の剪定、草刈等の残滓処分を行っています。

南部清掃工場は、素晴らしい設備に新しく建替えられ、尚一層スムーズに利用できるようになりました。

軽貨物事業は、不用品、粗大ごみの依頼も増加傾向で、愛用された家具など丁寧に扱い、作業後に感謝の言葉と「またお願いします」の一言で励まされます。

公園作業は、各ブロックの会員の方々と連携のもと、四季を感じながら「環境美化」に貢献参加することに努めたいと思います。

シルバー人材センターの益々の御発展を祈念いたします。

ひまわり劇団

松 崎 絹 子

平成30年5月、太陽に向かって元気に咲くひまわりのように明るく、爽やかにをモットーに、多くの人が笑顔のなれる時間を届けたい、仕事だけでなく社会貢献もしたい！ そんな思いからひまわり劇団は誕生しました。

センター設立40周年の年に劇団員も40名になりました。現在最高齢84歳です。歌、踊り、三味線、太鼓、琴、手品、民謡、寸劇など多彩な役者がそろっています。

現在、コロナ禍で老人ホームなど施設への訪問活動は難しい状況ですが、いつでも「出動可能」、待機中です。また、劇団員も募集しています。人前に立つことは苦手、これといった芸は持っていない、とかは考えず入団して新しい自分を発見して下さい。一緒に笑顔を届けに行きませんか！

おじゃったもんせ

川 村 洋 子

私がシルバーの門を叩いたのは夫の一周忌を済ませて間もなく、残った人生、人に喜んでいただける仕事をしながら生き生きと暮らしたい、との思いからでした。

生活支援のお仕事を頂き、入会3ヵ月後からは「おじゃったもんせ」の店員としても働かせて頂き、すでに7年が経ちました。

自分が育てた農作物や手芸品を入荷される会員さんと、どうやってお客様に喜んで買って頂こうかと相談したり、来店されたお客様に満足して頂くにはどうしよう？ と店員全員で知恵を出し合ったり、外国人客が急増した時は、みんなで英語研修を受けて必死にカタコト英語で対応したり、積み重ねた経験で、会員さんやお客様にさらに喜んで頂ける店づくりを目指します。

鹿兒島高等学校

事務長 相 良 正

設立40周年、誠におめでとうございます。

超高齢化社会が進行し、労働力不足が深刻化する中で、高齢者の活用は、地域社会においても重要な課題となっており、高齢者雇用の一端を担っているシルバー人材センターの存在意義は、ますます大きくなってきています。

高齢者の多くは長期間の就業活動経験を通じて、スキル、ノウハウ、ネットワークなど、様々な能力を有しており、これを活用していくことは、今後の企業競争力の源泉の一つになり得るものだと思います。

本校では、10年以上前から鹿兒島市シルバー人材センターを活用させていただいておりますが、近年はグラウンド整備や駐車場整理だけではなく、入学試験業務をお願いするなど、本校にとっては、重要な戦力であり、なくてはならない存在となっています。

高齢者の社会活動参加に貢献するためにも、今後とも、シルバー人材センターの活用を積極的に行っていきたいと思っています。

株式会社 鹿兒島銀行

総務部 森 園 雅 志

この度は、設立40周年を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。

当社は、主に駐車場の管理を委託させていただいております。

私が担当する社用車の駐車場は立体駐車場となっており、1階がお客様専用、2階から4階までが社用車専用となっており、60台程度駐車しております。

管理人の方には、主に当社利用のお客様の駐車案内や無断駐車の監視等をお願いしております。場所が中心部に位置することから、出入りも激しくまた様々な方が出入りします。

時には苦情を受け付ける場合もあり、様々な場面で臨機応変に対応をしていただいております。これも、ひとえにシルバー人材の方の豊かな人生経験のなし得ることだと感謝しております。

また、自主的に駐車場内の掃除等もしていただき重ねて感謝しております。

これからも、良きパートナーとしてお付き合いをさせていただきたいと思います。

40th

公益財団法人慈愛会 今村総合病院

管理栄養部 七 枝 美 香

設立40周年、誠におめでとうございます。

当院では5年ほど前から、シルバー人材センターの方に食器洗浄業務をお願いしています。人材確保に非常に苦慮していたところからお付き合いが始まりました。病院厨房は、年間を通して休みなく稼働しており、年末年始、また悪天候の中でも業務にあたってくださいの皆様には大変感謝申し上げます。

業務以外においても、多彩な趣味の話を聞いたり、子育てについて相談したりと、若い職員とも交流を深めているようです。当院職員の退職にあたっては、会員の方にフラワーアレンジメントを作成頂いており、職員の雰囲気に合わせてアレンジメントは恒例となっていて、私自身も楽しみにしています。

末筆ながら、シルバー人材センターの一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

鹿児島日産自動車株式会社

総務部 福 本 武 信

設立40周年 誠におめでとうございます。

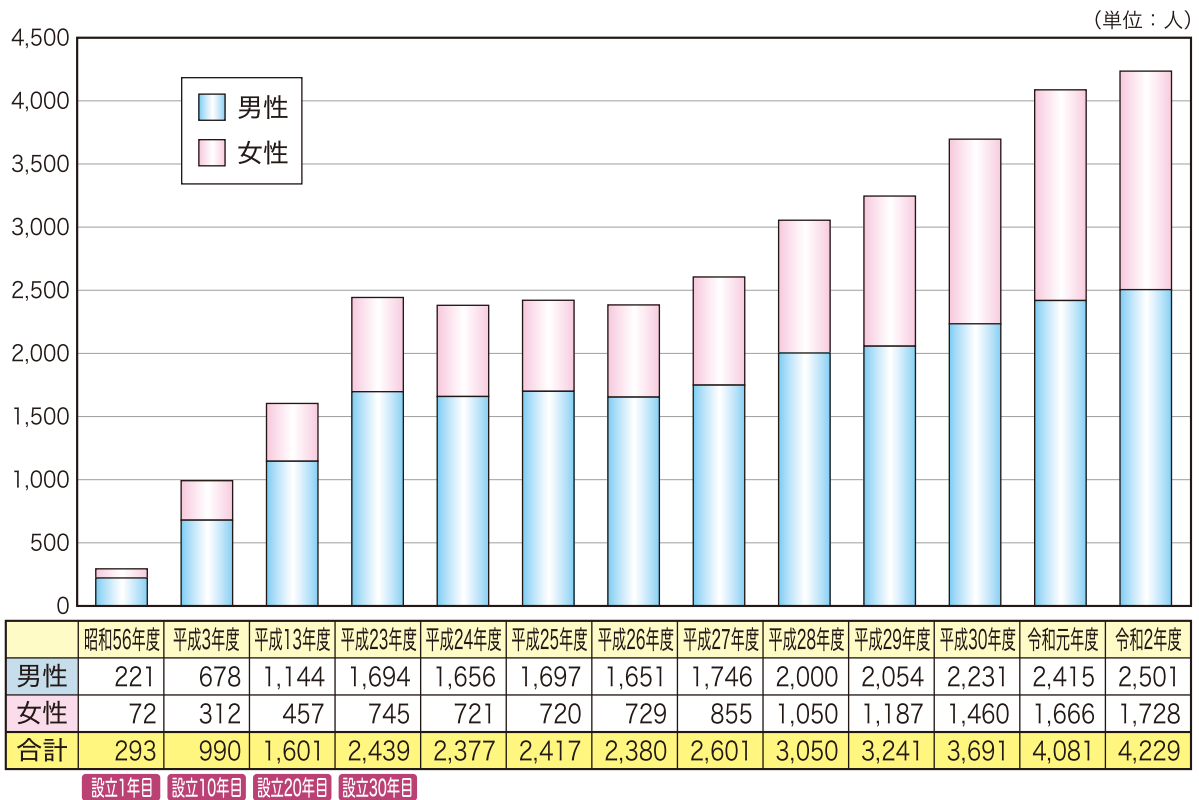
かなり以前よりお世話になっておりますが、振り返ってみて思い出された事が有ります。

ある事業所で敷地内に大量の虫による被害が継続しており、様々な専門家の方々にご相談しながら対応策を検討している折、当時の人材センターの窓口の方が来社されたので、ついでのように事情をお話したところ、即座に「伐採・清掃で解決できるのでは」とのご意見を頂戴した事でした。防虫策ばかり考えて発生を止めるという発想に至らずにいた事もあり、まさに目から鱗という思いでした。ご担当の方は、経験値から敷地内に繁茂する場所が有る事を推測されたようで、早速、現地調査を経て具体策をご提案頂きこれを実施して、見事に被害が激減しました。ご経験に基づく現実的な対策で助けて頂ける貴重な存在だと思います。これからも、益々のご発展を祈念申し上げます。

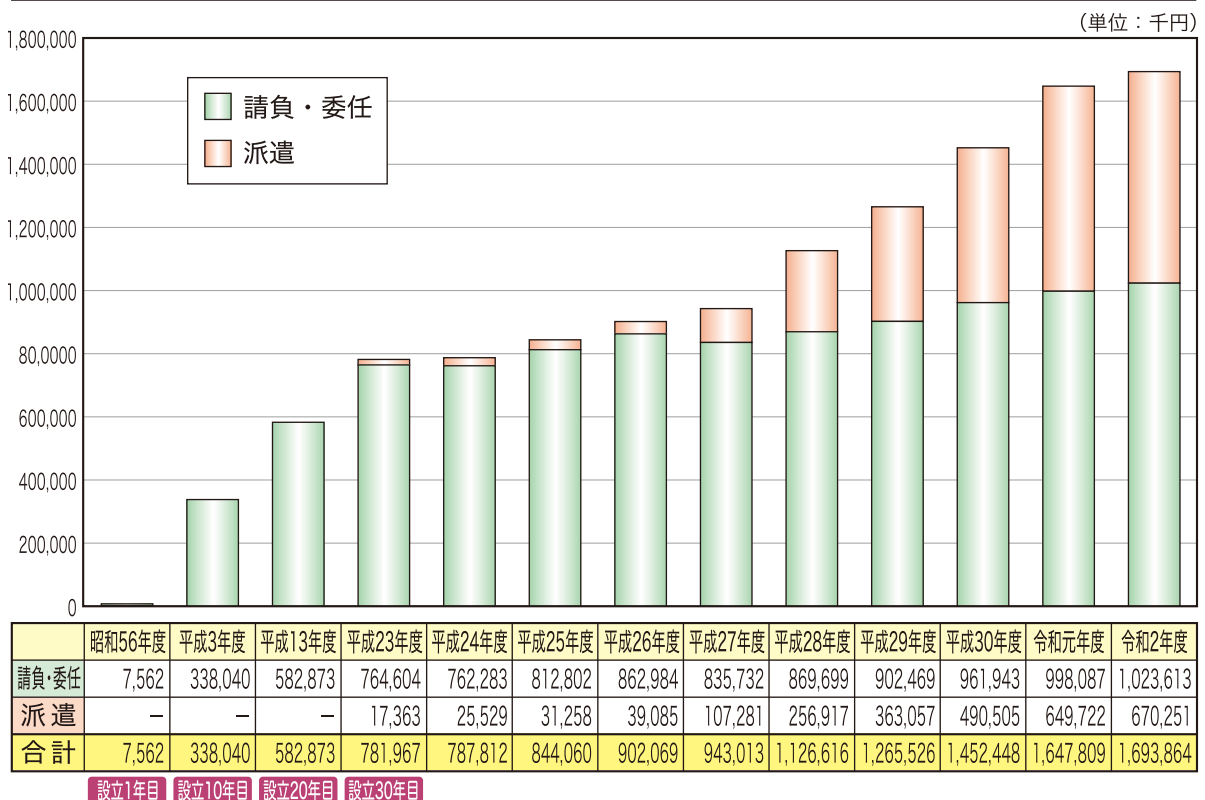
40th

会員数・事業実績

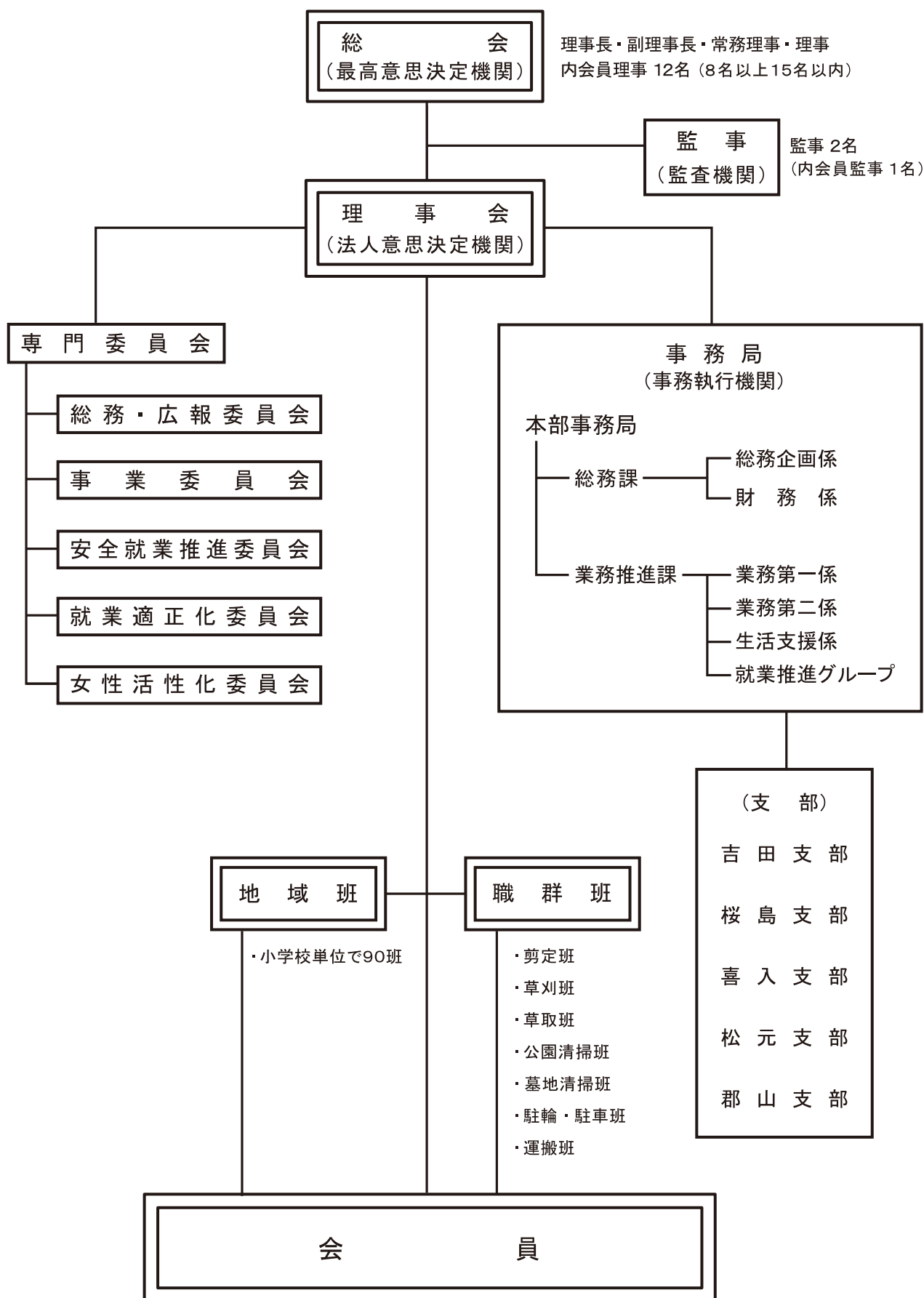
年度別・男女別 会員数推移



年度別事業実績金額（請負・委任、派遣）の推移



公益社団法人 鹿児島市シルバー人材センター 組 織 図



(令和4年3月現在)

地域班のあゆみ

1 発足～現在

シルバー人材センターは、多数の会員が広い地域に散在しており、横のつながりと自主活動が難しいことから、地域における会員相互の親睦・協調と連帯意識の高揚を図り、センターの事業目的達成に資することを目的とした地域班の編成が求められました。

このようなことから、センター設立の翌年度、昭和57年に5ブロック、35班の地域班が発足しました。その後、会員数の増加に伴い、平成16年には7ブロック、62班にまで増加しましたが、平成17年4月に隣接5町との統合に伴い、12ブロック、90班に拡大、現在に至っています。

2 地域班の主な役割と具体的活動

- ① センター事務局と会員とのパイプ役として、センターからの連絡事項の伝達、会員からの要望事項のセンターへの連絡
- ② センターの普及啓発、新規会員の入会促進のための活動
- ③ 会員の就業及び未就業会員等に対する就業に関しての連絡調整、情報提供
- ④ 会員相互の交流、親睦のための事業の企画、実施
- ⑤ ボランティア活動等の企画、実施

3 構 成

地域班には班長を置くとともに、班員数と地理的条件等から必要に応じて副班長を置き、さらに平成20年度から各地域の地域班を統括し、センターと地域班長との連絡調整や地域班長の職務等について側面から支援・助言を行うため、ブロック長を置いて地域班の活性化に努めています。

4 活 動

地域班においては、班会を自主的に開催して、必要な情報を提供し、会員間の意思疎通を図って、活動の活性化に努めています。地域班の主な年間行事は、班会のほかボランティア活動やレクリエーション等です。

ボランティア活動は、地域社会への貢献を実現する方策の一環として、またセンターの存在を広く周知させる普及啓発活動を兼ねて実施されており、地域の公民館、小学校、公園等、公共施設周辺の清掃活動等に多数の会員が参加しています。これらのボランティア活動に対して、公益社団法人「小さな親切」運動本部から平成18年2月23日に「クリーン大作戦」の表彰状が授与されました。

レクリエーションは、班会の後などに開催し、会員相互の交流、親睦を推進しています。

5 課題、目標

会員へのセンター情報の伝達を徹底するとともに、会員の就業状況や就業希望の把握に努め、班会やレクリエーションへの出席率の向上とボランティア活動への積極的な参加を推進します。

職群班のあゆみ

設立当初の昭和56年度の事業実績は、受託件数225件、契約金額756万円、就業率月平均20%であり、会員の皆様方に就業の機会を提供するという趣旨から見て、満足してもらえない状況ではありませんでした。

しかし、各方面の理解が得られ、現在の状況まで発展してきました。発展していく中で、会員の効率的かつ安全な就業を推進し、センター事業の達成に資するため、職群班が設置されました。

1 職群班の目的

会員の共働、共助を基本とした連帯意識と親睦を基調として、安全かつ効率的な就業を推進し、センターの事業の達成に寄与する。

2 職群班の組織

職群班は、地域班と異なり、全ての会員が所属するものではなく、設置されている職種ごとの会員で構成されています。

職群班では、必要に応じて、統括班長、ブロック長、班長を置き、自主的に会議を開催して、相互の連絡、調整と円滑な就業の徹底を図っています。

3 職群班の役割

- ① 就業における連帯・協調と安全確保
- ② 就業に関する情報の収集と就業機会の開拓
- ③ 就業能力開発と安全確保のための研修

4 センターで設置されている職群班

- ① 剪定職群班 平成8年1月 発足
- ② 草刈職群班 平成8年1月 発足
- ③ 公園清掃職群班 平成12年4月 発足
- ④ 墓地清掃職群班 平成12年4月 発足
- ⑤ 駐輪・駐車職群班 平成12年4月 発足
- ⑥ 運搬職群班 平成30年4月 発足
- ⑦ 草取職群班 令和2年4月 発足

会員互助会のあゆみ

1 沿革

鹿児島市シルバー人材センターは、昭和56年10月に設立されて以来拡充と発展を遂げてきましたが、設立15周年（平成8年）を契機にさらに充実・発展するためには、センター事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神を念頭に、会員が連帯感を強め、力を結集して事業の推進にあたり、市民の信頼と負託に応えて地域社会の発展に寄与することが課題となりました。

その施策の一環として、会員が趣味や余暇を活用して相互の親睦交流を促進し、参加意識や連帯感を高め、教養・健康等の向上に努めるとともに、福利厚生の上を図り、センターのさらなる発展に寄与することを目的に、平成8年5月28日（平成8年度通常総会）にセンターに所属する会員と事務局職員で構成する会員互助会が発足しました。

その後、鹿児島市と隣接5町の合併に伴い、平成17年4月1日に区域内のシルバー人材センターも統合され、旧5町の会員は互助会に入会することになりました。

会員数も令和4年2月末で4,402名に達し、センターのさらなる発展に寄与することが期待されます。

2 互助会の事業

（1）会員給付事業

祝 金	77歳（喜寿）	記念品
	88歳（米寿）	記念品
	結婚	10,000円
傷 病 見 舞 金	病気や怪我により引き続き30日以上入院した場合（年1回に限る）	3,000円
災 害 見 舞 金	全壊又は全焼のとき	10,000円
	半壊又は半焼のとき	5,000円
	床上浸水のとき	5,000円
弔 慰 金	会員死亡のとき	5,000円

(2) 親睦交流推進事業

①地域班のレクリエーション経費の助成

地域班への助成により、班員の親睦、相互交流を促進し、連帯意識の高揚と班活動の活性化に寄与します。

②同好会活動の助成

同好会の活動を促進し、これらの活動を通して仲間づくりを進めます。

③会員交流親睦会の実施及び助成

会員の日帰り旅行を実施、多くの会員が参加、地域の見学や懇親会等会員の親睦・交流を深め、楽しい1日を過ごします。

④おはら祭りへの参加及び助成

⑤グラウンドゴルフ大会の実施及び助成

(3) 会報の発行

互助会の運営状況や会員の近況、同好会の活動等の情報を提供しています。
(シルバーだよりに併刊)

3 互助会の組織、運営

(1) 定時総会

総会は会員全体の意思が直接反映される場であり、互助会の最も重要な会議です。毎年度1回、5月に開催され、前年度分の事業報告、決算の承認及び新年度の事業計画、予算の決定、役員の選任等、重要な事項を議決します。

(2) 役員会

役員会は、会長、副会長、事務局長（会計）及び幹事をもって構成され、総会で議決した事項の執行に関する事項、総会に付議すべき事項、その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項を協議します。

役員会の構成		
会 長	1 名	
副 会 長	2 名	
事務局長（会計）	1 名	
幹 事	地域班ブロック長選出	13名以内
	職 群 班 選 出	6 名以内
	女 性 会 員 等	若 干 名
監 事	2 名	

同好会活動の紹介

シルバー観光ガイドの会

私たち「シルバー観光ガイドの会」は令和2年3月創立20周年の「記念誌」を発行いたしました。

これまで多くの先輩が、それぞれ苦難な時を乗り越えて、観光ガイドの会を継続発展して来た証（あかし）の記念誌になりました。現在会員は約30名です。毎月第二木曜日に例会を開き、歴史や文化を学び合っています。春には甲突川河畔での花見、秋はバスでの県内の名所・旧跡を巡る日帰り旅行、冬は忘年会での余興大会で会員の親睦を深めています。鹿児島は歴史を語れる教材が多くある所です。南北600キロの県域は黒潮の洗う特異な地域です。

倒幕・明治維新を建成し、新しい国造りに貢献した、鹿児島の偉大な先輩たちの業績を次世代に伝えていく使命があります。「人生100年時代」を迎えようとして今日、高齢者の皆様が健康で、ご多幸の得られる「生き甲斐」の学習の場として活用し、地域社会に貢献して頂きたいと思います。

書道研鑽会

平成8年に発足し、会員は約34名です。月2回（細字・半紙）毛筆による研修会を実施して技術の向上に努めています。また、年2回食事会等を実施し、会員同士の親睦にも努めています。

作品はシルバー人材センター内の掲示板に展示し、山形屋3階ブリッジギャラリーや鹿児島市役所市民ギャラリーでの会員作品展にも出品しています。

ゴルフ同好会

平成15年7月設立。現在会員数72名、年間5回程度、鹿児島市内近辺のゴルフ場を利用しています。会員の交流と健康増進、和気藹藹と楽しくプレーし明日への活気を養う事を目的とした同好会です。賞品も知恵を絞って工夫し、参加者には喜ばれ好評を頂いており、会員も増え続けて、大世帯になりつつある現状です。

おはら祭同好会

平成10年から踊り連をつくり、おはら祭に参加、毎年参加者が増えて令和元年度は189名の参加者があり、センターの横断幕を先頭におはら節、ハンヤ節、渋谷音頭で元気な会員の存在をアピールすると共にセンターのPRに貢献しています。

歩 遊 会

平成29年6月に16名で発足し、令和3年現在、会員数は56名です。毎月、第3日曜日に山歩き、市内散策等を実施していますが、毎回半数ほどの参加があります。コロナの影響で、令和3年4月から活動を休止していましたが、10月に再開し、城山登山を実施することができました。11月は大浪の池登山を計画しました。多くの会員参加で楽しんでもらいたいと思います。

希 楽 会

平成8年に発足し、現在、会員数15名です。手芸好きで、楽しく語らうことが大好きなシルバー会員の集まりです。それぞれの知恵、経験を生かして手芸品を作り、アンテナショップで販売したり、イベント作品展等にも展示していただいたりして、ささやかながら人生に希望をもって楽しく活動しています。

グラウンドゴルフ同好会

平成29年4月設立。設立時は健康の森公園を中心に23名の会員で活動していましたが、現在は松元支部会員を中心に毎月第1木曜日に、石坂の里で18名の会員で交流と親睦を深めています。

フォークダンス同好会

平成29年設立。現在会員数20名、毎月1回、第2日曜日に市の福祉センター等で軽快な音楽とステップで世界の民族の踊りを練習しています。

卓球同好会

平成29年4月設立。現在会員数27名で活動中。毎週木曜日、13時から15時の2時間、中央町キャンセビル8階で練習しています。初心者の方も始めてから1年たった頃にはラリーができます。お友達も多くなります。是非シルバー卓球同好会に入部してください。

カラオケ同好会

平成29年5月設立。現在会員数22名で、3～4ヶ月に1回カラオケスナックで飲みながら、食べながら、歌いながら和気あいあいとした雰囲気を楽しんでいましたが、コロナ禍で令和3年12月迄中止しております。収束後は思う存分皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

囲碁同好会

平成30年4月設立。現在会員数10名、毎週土曜日の10時から12時30分まで坂之上福祉館で初心者から上級者まで、それぞれの自己申告で対戦します。その中で「効、桂馬、一間かかり」等の基本要素を知り、対戦を通して「面白かった、楽しかった。次もお願いします。」と言える充実した囲碁同好会を目指して活動しています。

ゲートボール同好会

平成31年設立。現在会員数16人。桜島ゲートボール場で桜島支部を中心に活動しています。毎月1回、参加賞付き大会を実施しています。今後は桜島以外でも同好会、会員が増えて欲しいです。

男の料理 同好会

男性からの要望で平成31年2月18日に設立。第1回目を男性7人、女性3人で田上福祉館でスタート！ 材料費として1回600円。3ヶ月に1度の計画でしたが新型コロナウイルスの影響で中止が続き、令和3年12月でやっと8回目ことができました。新しい会員も増えてメンバーも少し変わりましたが、現在は男性13人、女性4人で武・田上公民館で実施しています。それぞれが得意分野を発揮しながらチームワークも良く、皆さんとても楽しそうです。

※女性3人は鹿児島市食生活改善推進員に認定されているシルバー会員です。

パークゴルフ同好会

令和2年11月に鹿児島市健康の森公園にパークゴルフ場がオープンしたのを機にパークゴルフの楽しさ・面白さを広めることと健康増進を兼ねた運動として、令和3年10月に始めた同好会です。家族で楽しめる事も私達シルバー会員の生き方であると感じます。基本的には、ルール・マナー等を重要視するスポーツであり継続すれば健康寿命が延びる事となります。同好会として「ひよこ」ですが、これから羽ばたく為、皆様の入会をお待ちしております。

歴代 役員一覧表

公益法人移行後
(平成24年4月1日～)

理 事 長		谷川 優子	H24.4.1～H24.5.24	坂井 浩一	H28.5.26～H30.5.30
隈元 一	H24.4.1～H25.5.23	平川 義則	H24.4.1～H24.5.24	生見 悦子	H28.5.26～R2.5.28
森 英夫	H25.5.23～H27.5.28	木原 英三	H24.4.1～H24.5.24	吉村 幸子	H28.5.26～H30.5.30
藤山 幸一	H27.5.28～R2.5.28	大塚 次則	H24.4.1～H26.5.29	松崎 絹子	H28.5.26～H30.5.30
柿元 孝志	R2.5.28～	上井 正守	H24.4.1～H24.5.24	千堂 和弘	H28.5.26～H30.5.30
副 理 事 長		山内 敦子	H24.4.1～H28.5.26	中野 豊明	H30.5.30～R2.5.28
湯田 昭夫	H24.4.1～H24.5.24	寺師 公夫	H24.4.1～H26.5.29	岩元 勇男	H30.5.30～R2.5.28
山下 直子	H24.4.1～H24.5.24	有村 良信	H24.4.1～H24.5.24	向井 重則	H30.5.30～
川井田清広	H24.5.24～H25.5.23	山下 勇夫	H24.4.1～H24.5.24	福山 洋子	H30.5.30～R2.5.28
谷川 優子	H24.5.24～H26.5.29	的場 睦夫	H24.4.1～H24.5.24	境 和子	H30.5.30～
徳田 隆士	H25.5.23～H26.5.29	熊谷 信晴	H24.4.1～H24.5.24	鬼丸 泰岳	H30.5.30～R1.5.30
寺師 公夫	H26.5.29～H28.5.26	新西 勝博	H24.5.24～H30.5.30	有村 浩明	R1.5.30～R2.5.28
大塚 次則	H26.5.29～H28.5.26	木村 英雄	H24.5.24～H24.11.14	脇野 繁	R2.5.28～
森下 三郎	H28.5.26～H30.5.30	鬼丸 良一	H24.5.24～H26.5.29	関口 貞夫	R2.5.28～
榊本 常弘	H28.5.26～R2.5.28	藺田 修治	H24.5.24～H26.5.29	今林 幹夫	R2.5.28～
川原 信弘	H30.5.30～R2.5.28	岡村 芳彦	H24.5.24～H26.5.29	中崎 久男	R2.5.28～
松崎 絹子	H30.5.30～	上之園 彰	H24.6.1～H26.5.29	大坪恵一郎	R2.5.28～
中野 豊明	R2.5.28～	中村 健二	H25.5.23～H28.5.26	迫 カズ子	R2.5.28～
常務理事兼事務局長		久保 雄一	H25.5.23～H26.5.29	池水 月美	R2.5.28～
赤尾 力	H24.4.1～H24.5.24	森下 三郎	H26.5.29～H28.5.26	田中ミツ子	R2.5.28～
森 英夫	H24.6.1～H25.5.23	徳留 治義	H26.5.29～H28.5.26	中馬 秀文	R2.5.28～
大徳 義信	H25.5.23～H27.5.28	武 厚生	H26.5.29～H28.5.26	監 事	
福永 修一	H27.6.1～R1.5.30	柿本 賢一	H26.5.29～H28.5.26	鈴木 英雄	H24.4.1～H24.5.24
柿元 孝志	R1.5.30～R2.5.28	榊本 常弘	H26.5.29～H28.5.26	西村 司	H24.4.1～H25.5.23
原 亮司	R2.5.28～	杉田イチ子	H26.5.29～R2.5.28	有村 良信	H24.5.24～H28.5.26
理 事		町田 和海	H25.5.23～H28.5.26	岩切 賢司	H25.5.23～H28.5.26
石田尾武彦	H24.4.1～H24.5.24	圖師 俊彦	H26.5.29～H27.5.28	霜出 祐二	H28.5.26～R2.5.28
徳田 隆士	H24.4.1～H25.5.23	山下 正昭	H27.5.28～H28.5.26	米倉 章二	H28.5.26～R1.5.30
川井田清広	H24.4.1～H24.5.24	下川 秀一	H28.5.26～R2.5.28	永重 俊明	R1.5.30～
黒木 秀夫	H24.4.1～H25.3.9	豊田 義孝	H28.5.26～R2.5.28	白石 渉	R2.5.28～
馬場 義信	H24.4.1～H24.5.24	川原 信弘	H28.5.26～H30.5.30		
柳田 稔	H24.4.1～H24.5.24	松元 純裕	H28.5.26～H30.5.30		

役員、職員紹介



役員



事務局職員



支部職員

設立40周年記念事業 実行委員会

鹿児島市シルバー人材センターは、令和3年度設立40周年の節目を迎えるにあたり、設立40周年記念事業を実施することとし、総務・広報委員会の委員と会員の計11名で実行委員会を設置しました。また、委員会に総務部会、編集部会を置くことになりました。

- 総務部会 …… 記念式典、記念品、被表彰者の選考・表彰に関すること
- 編集部会 …… 記念誌発行、記念動画制作に関すること

■実行委員会名簿

役 割	職 名	氏 名
委 員 長	理 事	中野 豊明
副委員長	理 事	関口 貞夫
委 員	理 事	池水 月美
委 員	理 事	田中ミツ子
委 員	理 事	中馬 秀文
委 員	地域班長	梅北 克己
委 員	地域班長	大迫 忠治
委 員	地域班長	中島 和人
委 員	地域班長	川原 信弘
委 員	会 員	中崎 久男
委 員	会 員	宮内 輝文
事 務 局		原 亮司
		中村 敬子
		門園 和男
		池上 聡

■40周年総務部会

役 割	職 名	氏 名
部 会 長	理 事	中野 豊明
副部会長	理 事	池水 月美
部 員	理 事	中馬 秀文
部 員	地域班長	梅北 克己
部 員	地域班長	中島 和人
部 員	会 員	中崎 久男
事 務 局		中村 敬子
		門園 和男

■40周年編集部会

役 割	職 名	氏 名
部 会 長	理 事	関口 貞夫
副部会長	理 事	田中ミツ子
部 員	地域班長	大迫 忠治
部 員	地域班長	川原 信弘
部 員	会 員	宮内 輝文
事 務 局		門園 和男
		池上 聡



■設立40周年記念事業の経過

時 期	項 目	内 容
令和2年 7月10日	第3回 理事会	設立40周年記念事業実施について 記念式典の実施、記念誌の発行を承認
8月27日	第1回 実行委員会	実行委員会及び部会設置、素案検討 ・総務部会 記念式典、表彰等に関すること ・編集部会 記念誌に関すること
11月27日	第1回 40周年総務部会 第1回 40周年編集部会	式典内容・記念品・表彰について 記念誌発行予定日・記念映像（40周年のあゆみ）
11月27日	第2回 実行委員会	式典内容・記念品・表彰について 記念誌発行、記念映像について
令和3年 1月26日	第3回 実行委員会	記念式典実施内容について 記念誌発行、記念映像について
7月13日	第4回 実行委員会 第2回 40周年総務部会 第2回 40周年編集部会	式典開催（規模縮小）、被表彰者選定について 記念誌及び記念紙（簡易版）について 記念映像（40周年のあゆみ）について
9月28日	第5回 実行委員会	記念式典の運営について 40周年記念プレゼント企画及び抽選について
10月14日	設立40周年記念式典	サンエールかごしま 講堂
11月18日	40周年リーフレット発行 40周年記念動画	全会員へ発送 ホームページ掲載
令和4年 3月	設立40周年記念誌発行	関係機関等へ発送



設立40周年記念事業 実行委員会 委員

編 集 後 記

鹿児島市シルバー人材センターは、昭和56年（1981年）10月13日に会員数268名で設立、令和3年（2021年）10月に40周年を迎えました。

センターでは、令和2年8月に設立40周年に向けて実行委員会を立ち上げ、総務部会では記念式典の内容や記念品の選定、編集部会では記念映像や記念誌の作成についての協議を進めてまいりました。

令和3年10月14日に実施した記念式典は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、当初計画していた規模を縮小して開催しましたが、センターの設立時から現在までをまとめた「40年のあゆみ」の放映、会員による「ひまわり劇団」の歌や演芸があり、楽しく過ごせました。式典当日の内容は動画にしてセンターのホームページで見ることができます。

会員の方々には40周年記念式典リーフレットに同封して、エコバックを記念品としてお送りしました。

編集部会が担当するこの記念誌の発行をもって、一連の「設立40周年記念事業」は完了することになります。この記念誌には、祝辞、会員の声、発注者の声を掲載させていただきました。寄稿頂きました皆様、本当にありがとうございました。

今回の記念誌の発刊に関し、関係の方々にも多大なご協力を頂き、心から御礼と感謝を申し上げます。

この40周年を契機に、当センターが益々発展いたしますことを願って、編集後記といたします。

設立40周年記念事業実行委員会
編集部会 部会長 関口 貞夫

公益社団法人 鹿児島市シルバー人材センター 設立40周年記念誌 40年のあゆみ

令和4年3月 発刊

発 行 公益社団法人 鹿児島市シルバー人材センター
〒890-0061 鹿児島市天保山町1番1号
編 集 設立40周年記念事業実行委員会 編集部会
印 刷 日進印刷株式会社

